

令和8年度 社会福祉法人穩寿会 事業計画

【法人理念】

『最良の心がけとより質の高いサービスの提供』

【基本方針】

全ての団塊世代が後期高齢者となった2025年以降、高齢者福祉・介護を取り巻く環境は新たなステージに入ったと言えます。また、少子高齢化により加速する人手不足や世界情勢の変化に伴う物価高騰等により、当法人を取り巻く経営環境は益々厳しくなっています。そうした環境下で、これからも当法人が質の高いサービスを通じて地域社会に貢献していくにあたり、以下の3つを基本方針とします。

1 人材を大切に守り・育てる
私たちのサービスは全て人の手によって供されるものです。すなわちサービスの担い手であるスタッフ一人ひとりがやりがいを持って気持ちよく働くことがサービスの質に直結します。そのために、スタッフの育成や働きやすい環境構築に取り組んでいきます。

2 安心・安全を基本とし、令和の社会ニーズに沿ったサービスを追求する
「安心」と「安全」は福祉サービス利用の大前提として、本人及びご家族ひいては社会が期待するものです。事故やアクシデントを完全にゼロにすることは困難ではありますが、それらを防ぐべく様々な取り組みを続けていく必要があります。そのうえで、地域から求められ選ばれる事業所となるために、地域住民のニーズを満たすサービスの構築・提供を続けていきます。

3 地域とのつながりを深める
地域社会において選ばれる法人・事業所であるために、より多くの人に私たちの存在や取り組みを知ってもらう必要があります。かねてより取り組んでいる地域活動の広報を強化するとともに、さまざまな方策で当法人の地域での存在感を高めていきます。

【職員状況】

正職員：223名 非常勤：130名

【主な施設整備等について】

- 1 フローラユーフ 照明LED化工事
事業規模 2,200万円
- 2 裕和園 Wi-Fi更新工事
事業規模 1,000万円
- 3 勝浦 機械浴槽およびストレッチャー
事業規模 616万円

【拠点ごとの目標及び取組み】

拠点	事業	目標稼働率	施設方針	個別目標及び具体的取組み
裕和園	特養 ショート	98.8%	ご利用者一人ひとりの尊厳を大切にし、ご利用者の「生き甲斐」を支えます。常に課題を見つめ、より良いケアと生活を創り続け、職員の働き甲斐に繋がります。人生の最終章に寄り添い、その方の一生が完成する最後の「生きる」を支えます。	入院予防・自立型支援・重度化防止の展開によるサービス向上 感染症対策の強化 医療面での受け入れ態勢の充実 役職制度の見直し、キャリアパスの充実と評価制度の明確化 次世代見守りツール導入に向けた体制整備
	デイ	75.7%	利用者理解を基盤とした支援を行い、職員がチームで支え合いながら、人を大切にする質の高いデイサービスの実現	学習療法・短時間デイの導入 利用者アンケートを実施しニーズを深掘り 職員間の情報共有・連携強化によるサービスの質向上
	居宅	-	利用者本位のサービスの提供	ICT化促進による業務効率向上
勝浦裕和園	特養 ショート	98.5%	ICT機器や新たな介護機器の導入を通じて夷隅郡市内における地域ナンバー1のICT・介護ロボット先進施設となることで、利用者処遇、職員の就業環境両方の向上を目指します。	移乗介護リフト、見守り機器の導入 業務見直し・効率化を図る 介護マニュアルの全面改訂・簡易マニュアルの作成・配布 積極的な外出支援の実施
フローラユーフ	特養 ショート	98.0%	ユニット型施設として利用者一人ひとりの生活リズムや価値観を尊重し、「施設のルールに合わせる」のではなく、「利用者の生活に合わせる」個別ケアを目指します。また、地域社会からの福祉に伝えるべく他の医療サービスや福祉サービスとの連携も図っていきます。	迅速な入所体制を構築することによる稼働率向上 リハ、口腔ケア、栄養管理の一体的取組による入院予防 施設内外研修の受講を促進することで職員個々の介護力向上 協力フロア体制の推進・深化による個々の職員の負担軽減 骨折事故・重度事故の削減を図る 感染症対応力を強化しクラスター発生ゼロを目指す SNS等での情報発信による地域・求職者へのPR
かえで	GH 小多機	99.5%	最高の「接遇」と「一つひとつの丁寧なケア」で利用者一人ひとりの想いに寄り添い、職員自身もやりがいと誇りを持ち、『明日が待ち遠しくなる介護』を追求する地域密着型サービス	接遇の基本姿勢を明確化・共有し、日々向上に努める 多職種連携を強化しチーム全体で利用者や職員を支える体制を構築する。 ケアサポーター導入及びICT、AIを活用した業務の見直し、効率化を進め、介護職員がご利用者と向き合う時間を増やす。
グリーンユーフ	ケアハウス 配食	99.0%	安心・安全な環境の中で、利用者同士や地域との交流を通じ、互いに尊重し、生き生きと暮らせるよう支援する	面談等で職員個々の状況を把握し働きやすい環境を醸成 体力アップやフレイル予防につながる行事の積極的開催 事故防止の観点から、設備点検や入居者状態の把握を強化する。 地域にスペースを開放し、入居者と地域住民の関わりの促進
あんしん誉田	地域包括 支援センター	85.0%	積極的に「地域に出ていく」地域包括を意識し、誉田圏域の介護予防促進、地域住民の意識向上、各機関との連携を推進します。	情報共有の徹底することでチーム支援を強化 カナミックのネットワーク機能やデータ連携機能を活用し業務効率向上 複雑な問題へ対処力向上のため、多機関連携を強化
さくらんぼ 保育園	認可保育所	100.0%	保育園だけではなく地域全体に目を向け、高齢者、子どもたちとの触れ合いの機会を多く持つ。	ICTを活用し、忙しい保護者の負担を軽減する。（保護者からの連絡、保護者アンケート） ふれあい広場の積極的活用